

科目名： 考える力をつける		科目コード	HH20
科目主査： 小林 孝雄		単位	2
担当講師： 池内 健治、岩本 健一、遠藤 優子、小林 孝雄、小林 久司、田口 尚史、竹元 雅彦、浜田 悟、森 昭彦、吉澤 郁雄		配当年次	1
授業の目的と概要		グループワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
論理的に物事を思考するという事は、現代社会、殊にコロナ禍で生活や仕事をする我々にとっては必須のスキルと言えます。論理思考を身につけることで、複雑化した問題を解決したり、同じように複雑化したコミュニケーションを円滑に進めるにおいて効率的・効果的に行うことができるようになるでしょう。本科目では、思考技術の代表的なツールをテキストの内容で深く理解し、さらに演習に取り組んでいながら学修します。			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：	
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、理解が困難・不十分な点がありましたら、スクーリング時に質問できるように整理しておきましょう。		
テキスト	『ロジカル思考を身につける』産業能率大学総合研究所		
この科目の到達目標	①論理的思考の概略について学修することで、その内容を説明することができる。 ②演繹法、帰納法、因果関係といった論理思考の中核の思考法を活用することができる。 ③MECE、ロジックツリーといった思考技術を修得し活用することができる。		
成績評価の方法	出席状況はログ確認を行います。また第一日に課す課題に対して評価します。 最終テストにおいては、学修した内容の理解度を、キーワードの記述といった客観問題と、キーワードをベースとした重要なポイントについて論述問題を解いてもらいます。		
事後学習	スクーリングで学んだ論理思考の思考法を生活や仕事の場面で活用してみましょ。例えば、企画の立案や会議での話し合いなど活用範囲は広いです。結果としてこれまでのやり方が改善され、効率的・効果的に進められるように工夫しましょう。		
事後学習の参考文献	『MBAクリティカル・シンキング』, グロービスMBAシリーズ, ダイヤモンド社, 2012年 『ワンランク上を目指すためのロジカルシンキングトレーニングブック』, 日沖 健, 産業能率大学出版部, 2014年		
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。			